

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
1	高橋 恵子	看護学科	教授	<研究報告> 市民と保健医療専門職におけるPeople-Centered Care パートナーシップの関連要因	共著	あり		厚生 の指標、71(6)、2-8	○高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、麻原きよみ、大森純子、新福洋子、菱沼典子、田代順子
2	渡邊 千登世	看護学科	教授	【病院と地域を横断して働く看護師の育成 神奈川県内の看護師の新たな働き方モデル】 「看護師の新たな働き方モデル」開発の実際と教育プログラムの概要（解説）	共著	なし		看護管理;34(7);P.550-554	分担執筆 村上 明美, 渡邊 千登世, 宮芝 智子
3	渡邊 千登世	看護学科	教授	【あなたの"ストレスを減らす"ための職場の対人関係サバイバルスキル】(Part1)上司・先輩との対人スキル(解説)	単著	なし		Expert Nurse;40(5);P.68-71	渡邊千登世
4	渡邊 千登世	看護学科	教授	【あなたの"ストレスを減らす"ための職場の対人関係サバイバルスキル】(Part2)同期・同僚との対人スキル(解説)	単著	なし		Expert Nurse;40(5);P.72-75	渡邊千登世
5	渡邊 千登世	看護学科	教授	【あなたの"ストレスを減らす"ための職場の対人関係サバイバルスキル】(Part3)後輩との対人スキル(解説)	単著	なし		Expert Nurse;40(5);P.76-79	渡邊千登世
6	渡邊 千登世	看護学科	教授	【あなたの"ストレスを減らす"ための職場の対人関係サバイバルスキル】(Part4)他職種スタッフとの対人スキル(解説)	単著	なし		Expert Nurse;40(5);P.80-83	渡邊千登世
7	山田牧子	看護学科	助教	不登校居場所支援でのデジタルゲーム活用の効果について	単	有		日本保健医療行動科学会 第39巻2号, 37-41	山田牧子
8	鈴木玲子	看護学科	教授	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会誌；34(3-1)；P.1-14	宮部明美, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃生子, 大場良子, 東口晴菜
9	常盤 文枝	看護学科	教授	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会誌 34 (3-1), 1-14,	宮部 明美, 鈴木 玲子, 常盤 文枝, 山口 乃生子, 大場良子, 東口 晴菜
10	山口（西田）乃生子	看護学科	教授	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会誌; 34 (3-1)；P1-14.	宮部明美, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃生子, 大場良子, 東口晴菜
11	大場良子	看護学科	准教授	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会誌、VOL34（3-1）、1-14	○宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、東口晴菜
12	宮部 明美	看護学科	助教	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会誌；34(3-1)；P.1-14	宮部明美, 鈴木玲子, 常盤文枝, 山口乃生子, 大場良子, 東口晴菜
13	金さやか	看護学科	助教	A path analysis of factors influencing life satisfaction among patients with narcolepsy in Japan	共著	あり		GHM Open	Sayaka Kon, Chieko Kato, Yoshiomi Otsuka, Takako Negishi
14	東口 晴菜	看護学科	助手	中堅看護師の教育力評価尺度の信頼性・妥当性の検討	共著	あり		日本看護学教育学会学会誌34巻3-1 号p.1-14	宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、東口晴菜
15	林 裕栄	看護学科	教授	一般病棟における男性看護師のキャリア発達-男性看護管理者へのインタビュー調査から-	共著	あり		日本看護管理学会誌 28 (1) pp. 153-163	栞原直弥・林裕栄・善生まり子・江口のぞみ
16	善生 まり子	看護学科	教授	一般病棟における男性看護師のキャリア発達ー男性看護管理者へのインタビュー調査からー	共著	あり		日本看護管理学会誌、28巻1号p153-163	栞原直弥、林裕栄、善生まり子、江口のぞみ
17	丸山優	看護学科	准教授	急性期病院における高齢者のフレイル予防・回復に向けた看護	共著	なし		老年看護学、29（2）、34-39	山本恵子、丸山優、湯浅美千代
18	森田牧子	看護学科	教授	精神疾患のある母親をもつ子どもたちの困難を乗り越える経験 セルフヘルプグループに集う子どもたちの語りから	共著	あり		日本精神保健看護学会誌 33(1) 138-146	伊賀 聡子, 横山 恵子, 森田 牧子

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
19	森田牧子	看護学科	教授	若年性認知症家族介護者の秘匿感情：秘匿から開示への過程における経験	共著	あり	○	日本看護科学会誌 2024 年 44 巻 p. 408-418	出貝 裕子, 勝野 とわ子, 青山 美紀子, 森田 牧子, 前田 優貴乃
20	江口 のぞみ	看護学科	准教授	一般病棟における男性看護師のキャリア発達 男性看護管理者へのインタビュー調査から	共著	あり		日本看護管理学会誌、28(1)、153-163	桑原直弥、林裕栄、善生まり子、江口のぞみ
21	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	Implementation of an internet-based stress management program in micro-and small-sized enterprises: a study protocol for a pre-post feasibility study of the effectiveness-implementation hybrid type 2 trial	共著	あり	○	Pilot and Feasibility Studies 5;10(1):56.	Sasaki N, Shimazu T, Takeno H, Ogawa S, Sawada U, Tsutsumi A, Imamura K
22	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	東京大学医学部におけるダイバーシティ, インクルージョン, コ・プロダクションの学部教育	共著	あり		医学教育 25;55(2):121-7.	里村 嘉弘, 金原 明子, 大久保 紗佳, 杉本 達哉, 片岡 朋恵, 小西 優歌, 吉川 桜子, 木之下 遼, 末松 万宙, 高橋 優輔, 熊倉 陽介, 長谷川 智恵, 佐々木 理恵, 山口 Iida M*, Sawada U*, Usuda K, Hazumi M, Umemoto I, Kuroda N, Kuga H, Fujii C, Nishi D *Contributed equally to this study and are
23	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	Effects of the Modified version of the Mental Health Supporter Training Program on mental - health - related public stigma among Japanese people: A pretest/posttest study	共著	あり	○	Psychiatry and Clinical Neurosciences 18;3(2):e219.	Sasaki N, Ogawa S, Sawada U, Shimazu T, Powell BJ, Takeno H, Tsutsumi A, Imamura K
24	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	Effectiveness of an online text-based stress management program for employees who work in micro-and small-sized enterprises: A randomized controlled trial	共著	あり	○	Internet Interventions. 1;37:100754.	Sawada U, Matsunaga A, Taneda A, Sasaki N, Yamaguchi S
25	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	Perspectives of people with schizophrenia on clinical outcome scales and patient-reported outcome measures: a qualitative study	共著	あり	○	BMC psychiatry 30;24(1):861.	Kotake R, Otsu E, Asaoka H, Sawada U, Miyamoto Y, Nishi D
26	澤田 宇多子	保健医療福祉学部	准教授	Effect of video - based trauma - informed care training for psychiatric nurses: A nonrandomized controlled trial	共著	あり	○	Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports.4(1):e70052.	望月浩江、添田啓子、田村佳士枝
27	田村佳士枝	看護学科	准教授	小児集中治療の場で看護師がとらえるこどもの力の見えづらさとこどもの力を引き出す看護	共著	あり	○	日本小児看護学会誌,34,43-51	前田貴彦,辻本健
28	辻本 健	看護学科	准教授	小児がんで入院中の中学生と高校生への看護における困難	共著	あり		小児がん看護, 19 (1) , 61-71.	望月浩江、添田啓子、田村佳士枝
29	望月浩江	看護学科	助教	小児集中治療の看護師がとらえるこどもの力の見えづらさとこどもの力を引き出す支援	共著	あり		日本小児看護学会誌.34.43-51	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏
30	関美雪	看護学科	教授	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻P3-9	関美雪、上原美子、佐藤玲子、 石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏
31	石崎 順子	看護学科	教授	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討ー学校等事故事例検索データベースを用いた分析ー	共著	あり		子ども・教職研究8、3-9	関美雪、上原美子、佐藤玲子、 石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏
32	柴田 亜希	看護学科	准教授	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究 8巻 3-9頁	関美雪、上原美子、佐藤玲子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏
33	伊草綾香	看護学科	助教	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏
34	黒澤 恭子	看護学科	助教	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析	共著	あり		子ども教職研究8巻P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏
35	菊池 宏	看護学科	助教	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏
36	西原 賢	理学療法学科	教授	Associations Between Muscle Thickness, Motor Function, and Echo Intensity in Community-Dwelling Older Japanese Men and Women	共著	あり	○	16(2)、e76651	Ken Nishihara, Hisashi Kawai, Manami Ejiri, Keigo Imamura, Shuichi Obuchi

2024年度公表論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
37	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Fibrosis of the infrapatellar fat pad induces gradual cartilage degeneration in a rat model.	共著	あり	○	Tissue & cell 95 102851-102851	Hideobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Sora Kawabata, Naoki Shimada, Kota Nihei, Kiyomi Takayanagi, Naohiko Kanemura,
38	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Estimating the paths and mechanical behaviors of the plantar aponeurosis during dynamic movements using a multiple-marker foot model incorporating anatomically-detailed plantar aponeurosis morphology	共著	あり	○	Gait &Posture 117 283-291	Yuka Matsumoto, Naohiko Kanemura, Naomichi Ogihara
39	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Impact of unilateral knee restraint on symmetry adaptation and double-support phase dynamic stability during split-belt walking	共著	あり	○	Experimental Brain Research Brain Research 243(3) 10.1007/s00221-025-07006-x	Keisuke Hirata, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, Naohiko Kanemura
40	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Hormonal fluctuations in rodent models using 4-vinylcyclohexene diepoxide: A systematic review and meta-analysis.	共著	あり	○	Hormones and behavior10.1016/j.yhbeh.2025.105680	Aoi Mashimo, Ryuga Oshida, Yuichiro Oka, Sora Kawabata, Chiharu Takasu, Kota Nihei, Takuma Kojima, Naohiko Kanemura, Kenji Murata
41	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Lower limb biomechanics and control of center of mass during turning phases in daily gait	共著	あり	○	Journal of Electromyography and Kinesiology 10.1016/j.jelekin.2024.102959	Riku Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuka Matsumoto, Keisuke Kubota, Sachiko Kosuge, Yasuyo Sunaga, Naohiko Kanemura
42	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	ラット前十字靱帯由来線維芽細胞の細胞遊走能は膝蓋下脂肪体との共培養により向上する	共著	あり		基礎理学療法学 27(1) 16-24	寺田 秀伸, 小島 拓真, 高須 千晴, 川端 空, 二瓶 孝太, 高柳 清美, 金村 尚彦, 村田 健児
43	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Estimating three-dimensional foot bone kinematics from skin markers using a deep learning neural network model	共著	あり	○	Journal of Biomechanics 173 10.1016/j.jbiomech.2024.112252	Yuka Matsumoto, Satoshi Hakukawa, Hiroyuki Seki, Takeo Nagura, Nobuaki Imanishi, Masahiro Jinzaki, Naohiko Kanemura, Naomichi Ogihara
44	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Effect of repeated sciatic nerve crush on the conditioning lesion response: Generating an experimental animal model to prolong the denervation period while maintaining peripheral nerve continuity.	共著	あり	○	Neuroscience letters 836 10.1016/j.neulet.2024.137879	Yuki Minegishi, Kaichi Ozone, Yuichiro Oka, Takuma Kano, Kenji Murata, Naohiko Kanemura
45	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Effect of Residual Pain After Posterior Fusion Surgery for Lumbar Degenerative Disorders on Health-Related Quality of Life: A Two-Year Follow-Up Using Patient-Reported Outcome Measures	共著	あり	○	Cureus 10.7759/cureus.61611	Tatsuya Endo, Naohiko Kanemura, Toshikazu Ito, Keita Sato, Takuya Miura, Katsuya Onitsuka, Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Masumi Iwabuchi,
46	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Speed-dependent modulations of muscle modules in the gait of people with radiographical and asymptomatic knee osteoarthritis and elderly controls: Case-control pilot study.	共著	あり	○	Journal of biomechanics 171 10.1016/j.jbiomech.2024.112194	Ken Takiyama, Keisuke Kubota, Hikaru Yokoyama, Naohiko Kanemura
47	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	Effects of sampling frequency and interpolation preprocessing on inter- and intra-study comparability of stabilometric variables	共著	あり	○	Biomedical Signal Processing and Control 90 10.1016/j.bspc.2023.105841	Moeka Yokoyama,Taku Miyazawa,Hiroki Hanawa, Keisuke Hirata,Hikaru Yokoyama, Keisuke Kubota, Tsutomu Fujino,Naohiko Kanemura,Haruka
48	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	【最適な非対称性動作を考える】非対称性からみた健常者の歩行動作の特徴	共著	なし		理学療法ジャーナル(0915-0552)58巻9号 Page1004-1008(2024.09)	平田 恵介, 塙 大樹, 金村 尚彦
49	金村 尚彦	大学院 理学療法学科	教授	【全身持久力トレーニング】運動器疾患患者に対する全身持久力トレーニング	共著	なし		理学療法ジャーナル(0915-0552)58巻8号 Page869-876(2024.08)	鬼塚 勝哉, 島田 直宜, 金村 尚彦
50	田口孝行	理学療法学科	教授	臨床実習指導者講習会の運営に関する取り組み	共著	あり		日本リハビリテーション教育学会誌;7(3):232–240	加藤研太郎、田口孝行、二宮省悟、赤坂清和
51	田口孝行	理学療法学科	教授	多職種連携実践（IPW）および多職種連携教育（IPE）の今とこれから	共著	なし		理学療法; 41(7); 643-656	田口孝行、吉村基宜
52	田口孝行	理学療法学科	教授	地域在住高齢女性における身体的・社会的フレイルと生きがい意識との関係	共著	あり		日本予防理学療法学会雑誌;4(1);27-32	村上綾香、吉井春風、小川秀幸、水田宗達、田口 孝行
53	田口孝行	理学療法学科	教授	生活期における多職種連携実践	共著	なし		理学療法; 41(10); 931-945	菊地裕美、田口孝行
54	田口孝行	理学療法学科	教授	Relationship between pain catastrophizing and pain self-efficacy and presenteeism in workers: a cross-sectional-study focusing on gender differences	共著	あり		Industrial Health 63, 29–39	Toshiki KISHIMOTO, Yoshinori KITABATAKE3, Takayuki TAGUCHI and Hiroaki NOBUHARA

2024年度公表論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
55	田口孝行	理学療法学科	教授	彩の国連携力育成プロジェクトにおけるオンラインシステムを利用した多職種連携教育（チーム演習）	共著	あり		城西大学教職課程センター紀要; 9; 101-111	村田勇、古屋牧子、堀井徳光、岩田直洋、大島繁、水野文夫、高尾浩一、小糸寿美、矢島克彦、君羅好史、五十嵐庸、柴崎智美、田口孝行、勝木祐仁、上
56	山崎弘嗣	理学療法学科・リハビリテーション学専修	教授	New quantitative evaluation of anticipatory postural adjustments using a smartphone in patients with Parkinson's disease.	共著	あり	○	Physiotherapy theory and practice 40(5) 1022-1027	Ryo Onuma, Fumihiko Hoshi, Hiroshi R Yamasaki, Tomoko Sakai, Tetsuya Jinno
57	山崎弘嗣	理学療法学科・リハビリテーション学専修	教授	Analysis of the characteristics of anticipatory postural adjustments in older adults using smartphones: Association between cognitive and balance functions	共著	あり	○	Gait & Posture 112 115-119	Ryo Onuma, Hiroshi R. Yamasaki, Fumihiko Hoshi, Ryosuke Tozawa, Yuki Soutome, Tomoko Sakai, Tetsuya Jinno
58	山崎弘嗣	理学療法学科・リハビリテーション学専修	教授	Association between freezing of gait and anticipatory postural adjustments in Parkinson's disease.	共著	あり	○	Journal of physical therapy science 36(10) 667-671	Ryo Onuma, Fumihiko Hoshi, Hiroshi R Yamasaki, Ryosuke Tozawa, Tomoko Sakai, Tetsuya Jinno
59	山崎弘嗣	理学療法学科・リハビリテーション学専修	教授	Evaluating the impact of therapeutic handling on sit-to-stand movements post-stroke: Kinematic smoothness as a monitoring metric for recovery.	共著	あり	○	Journal of Bodywork and Movement Therapies.	Hiroshi R. Yamasaki, Qi An, Koji Takahashi, Takanori Fujii, Ningjia Yang, Matti Itkonen, Moeka Yokoyama, Fady S.K. Alnajjar, Hironori Otomune,
60	今北英高	理学療法学科	教授	Relationship between physical activity and neighborhood environment in preschool children during COVID-19.-A cross-sectional study using 24-hour activity records.	共著	あり	○	PLoS One . 2024 Oct 29;19(10):e0304848. doi: 10.1371/journal.pone.0304848. eCollection	Yamaguchi N, Fukumoto T, Imagita H.
61	久保田章仁	理学療法学科	准教授	Seasonal changes in daily steps of community- dwelling older individuals with and without lifestyle-related diseases: a retrospective cohort study	共著	あり		Journal of Physical Therapy Science 36(5):252–258	Akihito Kubota Toyohiro Hamaguchi
62	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Short Physical Performance Battery and Cardio-Ankle Vascular Index Association in Older Patients with Heart Failure.	共著	○	○	International heart journal 65(5) 866-872	Shinya Kanzaki, Akihiro Ogawa, Yuki Ikeda, Msahiro Iwakawa, Takahiro Nakagami, Satoshi Kido, Arata Nakajima, Kazuhiro Shimizu
63	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Examining the association of external abdominal pressure with muscle mass and low back pain in older adults	共著	○	○	Journal of Musculoskeletal Research 28(1)2450020	Shinya Ogaya, Masahiko Shimamura, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido
64	木戸聡史	理学療法学科	准教授	Physiological effects of combined breathing and physical training in middle-aged and older adults.	共著	○		Journal of physical therapy science 37(1) 6-11	Satoshi Kido, Akiko Sato, Yasuhiro Nakajima, Masataka Murata, Tomoya Miyasaka, Wenwei Yu
65	小栢進也	理学療法学科	准教授	Examining the association of external abdominal pressure with muscle mass and low back pain in older adults	共著	あり	○	Journal of Musculoskeletal Research 28(1) 2450020	Shinya Ogaya, Masahiko Shimamura, Kenta Horiuchi, and Satoshi Kido
66	高崎 博司	理学療法学科	准教授	国際スポーツ大会で理学療法士がメディカルサポートに参加してく上での課題：デルファイ調査.	共著	あり		理学療法－臨床・教育・研究; 31(1); P. 22-32	須澤泰成, 高崎博司
67	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Mechanical Diagnosis and Therapy Has a Clinically Meaningful Effect on Neck Derangement Syndrome With a Directional Preference for Cervical Retraction or Extension in Comparison to a Wait-and-See Approach: An Assessor-Blinded Randomized	共著	あり		JOSPT Open; 2(2), P. 106-114	Takasaki H, Handa Y, Kikkawa K.
68	高崎 博司	理学療法学科	准教授	運動器疾患に対する生物心理社会的アプローチに有用なスクリーニングツール.	共著	あり		徒手理学療法; 24(1), P. 26-36	千葉弘樹, 高崎博司
69	高崎 博司	理学療法学科	准教授	エビデンスも活用した頰椎症患者に対する理学療法ケーススタディ	共著	あり		理学療法; 41(5), P. 394-405	千葉弘樹, 高崎博司
70	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Research Priorities in the Mechanical Diagnosis and Therapy Among Diploma Therapists: An International Delphi Study	共著	あり	○	Cureus; 16(6), P. e62492	Chiba H, Handa Y, Kikkawa K, Takasaki H
71	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Confirmation of the Unidimensionality of the Satisfaction and Recovery Index Among Those With Various Musculoskeletal Disorders	共著	あり	○	Cureus; 16(6), P. e62501	Takasaki H, Ishida S.
72	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Evaluating the Structural and Construct Validity of the Pain Understanding and Confidence Questionnaire for Assessing Physical Therapists’ Pain Management Competence: A Cross-Sectional Study	単著	あり	○	Cureus; 16(8), P. e66347	Takasaki H

2024年度公表論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
73	高崎 博司	理学療法学科	准教授	KOJI AWARENESS, a self-rating whole-body movement assessment system, has intersession reliability and comparability to external examiner rating	共著	あり	○	PlosOne; 19(8), P. e0308973	Takasaki H, Kanayasu S.
74	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Evaluation of the Structural and Construct Validity of the Credibility and Expectancy Scale for Patients With Musculoskeletal Disorders	共著	あり	○	Cureus; 16(8), P. e67639	Takasaki H, Handa Y, Kitamura T, Chiba H.
75	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Threshold and Standard Error of Measurement for Relative Rest Time of Pericervical Muscles During Prolonged Computer-Typing Tasks in Individuals With Neck Symptoms	共著	あり	○	Cureus; 16(9), P. e69119	Kikkawa K, Takasaki H.
76	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Japanese Clinical Physical Therapists With the Mechanical Diagnosis and Therapy License Are More Competent and Confident in Pain Management Than Those Without It: A Cross-Sectional Study	共著	あり	○	Cureus; 16(10), P. e70652	Takasaki H, Ueno T.
77	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Responsiveness of the P4, Patient Specific Functional Scale 2.0, Satisfaction and Recovery Index, and SF-12 in Patients With Musculoskeletal Disorders	共著	あり	○	Cureus; 16(10), P. e71571	Takasaki H, Handa Y, Chiba H, Kitamura T.
78	高崎 博司	理学療法学科	准教授	The Lumbar Roll May Support Maintaining an Upright Posture of the Neck During a Prolonged Typing Task Among Individuals With Neck Symptoms: A Randomized Crossover Two-Arm Experimental Study	共著	あり	○	Cureus; 17(1), P. e77179	Takasaki H, Kikkawa K, Kitamura T, Saito H.
79	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Female teleworkers with pain have the highest presenteeism, where its primary contributing variable was not those of musculoskeletal disability	単著	あり	○	Ind Health; 63(1), P. 71-83	Takasaki H
80	高崎 博司	理学療法学科	准教授	頰椎症患者の理学療法におけるフィジカルアセスメントのポイント	共著	あり		理学療法; 42(1), P. 13-21	千葉弘樹, 高崎博司
81	国分 貴徳	理学療法	准教授	Muscle Contraction is Essential for Tendon Healing and Muscle Function Recovery after Achilles Tendon Rupture and Surgical Repair.	共著	なし		bioRxiv	Yoneno M, Minegishi Y, Takahashi H, Takahata K, Miyamoto H, Usami Y, Kokubun T
82	国分 貴徳	理学療法	准教授	Concurrent Joint Contact in Anterior Cruciate Ligament Injury induces cartilage micro-injury and subchondral bone sclerosis, resulting in knee osteoarthritis	共著	なし		bioRxiv	Takahata K, Lin Y, Osipov B, Arakawa K, Enomoto S, Christiansen B, Kokubun T
83	国分 貴徳	理学療法	准教授	Substantial Braking Force of Anterior Tibial Translation Induces the Spontaneous Healing of Murine Anterior Cruciate Ligament	共著	なし		bioRxiv	Saito R, Nakayama K, Usami Y, Enomoto S, Nogi K, Kokubun T
84	国分 貴徳	理学療法	准教授	漸増力制御課題で顕在化する脳卒中者の異常な運動単位動員様式の経時的特徴	共著	なし		リハビリテーション医学研究財団研究論文・事例報告集 VOL.24:4-9, 2024	伊藤実央, 国分貴徳
85	国分 貴徳	理学療法	准教授	アキレス腱治癒において腱延長・腱強度回復不全をもたらすメカニズム解明	共著	あり		基礎理学療法学－日本基礎理学療法学会学術誌－	米野萌恵, 野木康陽, 伊藤貴紀, 宇佐美優奈, 国分貴徳
86	国分 貴徳	理学療法	准教授	Muscle Contraction is Essential for Tendon Healing and Muscle Function Recovery after Achilles Tendon Rupture and Surgical Repair	共著	あり	○	Journal of Orthopaedic Research	Yoneno M, Minegishi Y, Takahashi H, Takahata K, Miyamoto H, Usami Y, Kokubun T
87	国分 貴徳	理学療法	准教授	脳卒中片麻痺者の運動単位動員様式は病期により異なる特徴を示す	共著	あり		理学療法学	伊藤実央, 伊藤貴紀, 中村高仁, 国分貴徳
88	須永 康代	理学療法学科	准教授	【チームで取り組む 自立支援・重度化防止に向けた科学的介護の実践例】尿失禁のメカニズムとケア	単著	なし		介護人財, 21（3）, 21-26	須永康代
89	須永 康代	理学療法学科	准教授	女性の健康課題解決のための理学療法	単著	なし		日本理学療法士協会雑誌Up to date, 2（3）, 113-116	須永康代
90	須永 康代	理学療法学科	准教授	Lower limb biomechanics and control of center of mass during turning phases in daily gait	共著	あり	○	Journal of Electromyography and Kinesiology, 80	Riku Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuka Matsumoto, Keisuke Kubota, Sachiko Kosuge, Yasuyo Sunaga, Naohiko Kanemura

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
91	村田健児	理学療法学科	准教授	Chronic Ankle Joint Instability Induces Ankle Sensorimotor Dysfunction: A Controlled Laboratory Study	共著	あり	○	Am J Sports Med . 2024. Mar;52(3):739-749.	Sora Kawabata, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Naohiko Kanemura, Kenji
92	村田健児	理学療法学科	准教授	Effect of repeated sciatic nerve crush on the conditioning lesion response: Generating an experimental animal model to prolong the denervation period while maintaining peripheral nerve continuity	共著	あり	○	Neurosci Lett. 2024 Jul 27;836:137879	Yuki Minegishi, Kaichi Ozone, Yuichiro Oka, Takuma Kano, Kenji Murata, Naohiko Kanemura
93	村田健児	理学療法学科	准教授	Genome-Wide Network Analysis of DRG-Sciatic Nerve Network-Inferred Cellular Senescence and Senescence Phenotype in Peripheral Sensory Neurons.	共著	あり	○	Mol Neurobiol. 2024 Dec 23. doi: 10.1007/s12035-024-04666-8.	Sora Kawabata, Hirotaka Iijima, Naohiko Kanemura, Kenji Murata*
94	村田健児	理学療法学科	准教授	Hormonal fluctuations in rodent models using 4-vinylcyclohexene diepoxide: A systematic review and meta-analysis.	共著	あり	○	Horm Behav.2025 Feb;168:105680. doi:10.1016/j.yhbeh.2025.105680.	Aoi Mashimo, Ryuga Oshida, Yuichiro Oka, Sora Kawabata, Chiharu Takasu, Kota Nihei, Takuma Kojima, Naohiko Kanemura, Kenji Murata*
95	中村 高仁	理学療法学科	助教	Reactive Turning Behavior in Older Adults: Age Related Decrease is Evident under Increased Task Demand	共著	あり	○	Exp Aging Res, 1-16, 2024	Nakamura T, Suda Y, Higuchi T.
96	中村 高仁	理学療法学科	助教	高齢者の急な方向転換動作における課題の切り替え条件付与の影響	共著	なし		臨床歩行分析研究会誌 11 (2) 51-58, 2024	中村高仁, 樋口貴広
97	中村 高仁	理学療法学科	助教	脳卒中片麻痺者の運動単位動員様式は病期により異なる特徴を示す	共著	あり		理学療法学, 52(1), 20-27	伊藤実央, 伊藤貴紀, 中村高仁, 国分貴徳
98	中村 高仁	理学療法学科	助教	脳卒中後片麻痺を呈する生活期同名半盲者の歩行時視線行動への支援	共著	なし		専門リハビリテーション, 23, 1-7	中村高仁, 三井直人, 西尾尚倫
99	清水 新悟	理学療法学科	助教	足底挿板は扁平足例の肩関節周辺筋力を増大させる	共著	あり		日本義肢装具学会誌Vol. 40,No. 3, pp210-212	清水新悟 桑原基宏 後藤 慎 岩堀 裕介
100	清水 新悟	理学療法学科	助教	Plantar Plate Increase Upper Extremity Muscle Strength in Patients with Flat Foot	共著	あり		HSOA Journal of Alternative, Complementary & Integrative Medicine	Shingo Shimizu, Shin Gotou, Motohiro Kuwabara, Yusuke Iwahori
101	清水 新悟	理学療法学科	助教	Plantar inserts therapy for hind foot subtalar joint valgus type in medial Osteoarthritis of the Knee	共著	あり	○	HSOA Journal of Alternative, Complementary & Integrative Medicine	Shingo Shimizu, Hirokatu Hanamura, Kunio Ida, Yukihisa Katoh.
102	久保田 富夫	作業療法学科	教授	生成AIの進化と作業療法への応用の可能性	単著	あり		作業療法学芸雑誌 2(2) 4-5	久保田富夫
103	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Upper-Limb Functional Recovery in Chronic Stroke Patients after COVID-19-Interrupted Rehabilitation: An Observational Study	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi, Yasuhide Nakayama, Takuya Hada, Masahiro Abo
104	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Seasonal changes in daily steps of community-dwelling older individuals with and without lifestyle-related diseases: a retrospective cohort study	共著	あり	○	Journal of Physical Therapy Science	Akihito Kubota, Toyohiro Hamaguchi
105	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Effectiveness of a Dual-Task Intervention Involving Exercise and Vocalized Cognitive Tasks.	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Masahiro Abo, Toyohiro Hamaguchi
106	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Feature analysis of joint motion in paralyzed and non-paralyzed upper limbs while reaching the occiput: A cross-sectional study in patients with mild hemiplegia	共著	あり	○	PLOS ONE	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi, Naohiko Kanemura, Takashi Yasojima, Keisuke Kubota, Ryota Suwabe, Yasuhide Nakayama, Masahiro
107	濱口 豊太	作業療法学科	教授	がん患者の前向きな生活を支援する心理・運動介入方略	共著	なし		メディカル・サイエンス・ダイジェスト	小泉 浩平, 濱口 豊太
108	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Verification of Criterion-Related Validity for Developing a Markerless Hand Tracking Device	共著	あり	○	Biomimetics	Ryota Suwabe, Takeshi Saito, Toyohiro Hamaguchi

2024年度公表論文一覧										
	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者	
109	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Impact of Shaking Exercise on Functional Recovery in Patients with Chronic Post-Stroke Upper Limb Impairment: A Multicenter, Open-Label, Quasi-Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Applied Sciences	Takuya Hada, Toyohiro Hamaguchi, Masahiro Abo	
110	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Comparisons of Learning Effectiveness of Therapeutic Motion Techniques: Practicing with an Educational Hemiplegic Robot Arm versus Practicing with Other Students	共著	あり	○	Applied Sciences	Yuji Koike, Akihisa Okino, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi	
111	濱口 豊太	作業療法学科	教授	脳卒中後麻痺した手指の評価革新	共著	なし		メディカル・サイエンス・ダイジェスト	齋藤 剛史, 濱口 豊太	
112	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Action observation intervention using three-dimensional movies improves the usability of hands with distal radius fractures in daily life-A nonrandomized controlled trial in women	共著	あり	○	PLOS ONE	Kengo Usuki, Hiroaki Ueda, Toshiya Yamaguchi, Takako Suzuki, Toyohiro Hamaguchi	
113	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Power-Assisted Scissors Reduce Adductor Pollicis Muscle Fatigue: A Comparative Study in Female College Students	共著	あり	○	Applied Sciences	Kohei Koizumi, Kumiko Sasao, Yoshihiro Senju, Toyohiro Hamaguchi	
114	濱口 豊太	作業療法学科	教授	COVID-19流行中におけるリハビリテーション専門職の抑うつと睡眠およびストレス発散に費やす時間との関係	共著	あり		行動医学研究	滝澤 宏和, 田山 淳, 中谷 直樹, 濱口 豊太	
115	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use Disorder: A Quasi-Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Neuropsychopharmacology Reports	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, Toyohiro Hamaguchi	
116	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Estimation of Upper Limb Motor Function and Its Use in Activities of Daily Living Based on the Performance Time Required for the Cylinder Transfer Task in Patients with Post-Stroke Mild Hemiparesis: A Cross-Sectional Study	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi, Mina Yamamoto, Risa Aoki, Kenta Suzumura, Yasuhide Nakayama, Masahiro Abo	
117	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Empowering Physical Functions in Older Women With Sarcopenia Through Aomori Gymnastics: A Prospective, Observational, Nested Case-Control Study in Aomori Prefecture	共著	あり	○	Cureus	Kentaro Yoshida, Toyohiro Hamaguchi, Kazuaki Masuda, Eiichi Tsuda, Mikio Hiura, Masahiro Abo	
118	臼倉京子	作業療法学科	教授	該当なし						
119	押野 修司	作業療法学科	准教授	介護老人福祉施設における高齢者と伴侶動物の共生のための動物（犬・猫）への支援方法－質的データ分析手法SCATを通して－	共著	あり		ヒトと動物の関係学会誌、69、84-91	田島明子、安藤孝敏、押野修司、安野舞子	
120	押野 修司	作業療法学科	准教授	特集 発達期領域のトピック	単著	あり		作業療法学芸雑誌、2、6-7	押野修司	
121	上原 栄一郎	作業療法学科	准教授	精神科デイケア導入期におけるリハビリテーションの定量的評価	共著	あり	デイケア実践研究,		千々岩友子, 上原栄一郎	
122	上原 栄一郎	作業療法学科	准教授	機関紙リニューアルに寄せて「アントレプレナーシップ（起業家精神）教育と作業療法」	単著	なし	作業療法学芸雑誌,		上原栄一郎	
123	笹尾 久美子	作業療法学科	准教授	Power-Assisted Scissors Reduce Adductor Pollicis Muscle Fatigue: A Comparative Study in Female College Students	共著	あり	○	Applied Sciences	Kohei Koizumi,Kumiko Sasao,Yoshihiro Senju and Toyohiro Hamaguchi.	
124	鈴木 貴子	作業療法学科	准教授	Action observation intervention using three-dimensional movies improves the usability of hands with distal radius fractures in daily life-A nonrandomized controlled trial in women.	共著	あり	○	PloS one 19(10) e029430	Kengo Usuki, Hiroaki Ueda, Toshiya Yamaguchi, Takako Suzuki, Toyohiro Hamaguchi	
125	小池 祐士	作業療法学科	准教授	Comparisons of Learning Effectiveness of Therapeutic Motion Techniques: Practicing with an Educational Hemiplegic Robot Arm versus Practicing with Other Students	共著	あり	○	Applied Sciences, 14(18), 8498-8498	Yuji Koike, Akihisa Okino, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi	
126	小池 祐士	作業療法学科	准教授	Correlation between fall experience and life functions among community-dwelling older adults in Japan	共著	あり	○	Dialogues in Health, 5, 100198-100198	Koshi Sumigawa, Yuji Koike	

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
127	小泉 浩平	作業療法学科	助教	がん患者の前向きな生活を支援する心理・運動介入方略	共著	あり		Medical Science Digest 50(6) 46-47	小泉浩平, 濱口豊太
128	小泉 浩平	作業療法学科	助教	COVID-19パンデミック時における専門職連携教育の課題と前進	単著			作業療法学芸雑誌 2 10-11	小泉浩平
129	小泉 浩平	作業療法学科	助教	Power-Assisted Scissors Reduce Adductor Pollicis Muscle Fatigue: A Comparative Study in Female College Students	共著	あり	○	Applied Sciences 14(23) 11375-11375	Kohei Koizumi, Kumiko Sasao, Yoshihiro Senju, Toyohiro Hamaguchi
130	小泉 浩平	作業療法学科	助教	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use Disorder: A Quasi-Randomized Controlled Trial.	共著	あり	○	Neuropsychopharmacology reports 45(1) e70002	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, Toyohiro Hamaguchi
131	田坂 翔太	作業療法学科	助教	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use Disorder: A Quasi - Randomized Controlled Trial	共著	あり	○	Neuropsychopharmacology Reports, 45(1), e70002	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, Toyohiro Hamaguchi
132	滝澤宏和	作業療法学科	助教	行動医学研究において用いられる解析手法：国際行動医学雑誌(International Journal of Behavioral Medicine)を対象とした系統的レビュー	共著	あり		行動医学研究; 29(1); 22-55	渡辺和広、落合由子、浅岡紘希、川人潤子、島田恭子、滝澤宏和、土井理美
133	滝澤宏和	作業療法学科	助教	COVID-19流行中におけるリハビリテーション専門職の抑うつと睡眠およびストレス発散に費やす時間との関係	共著	あり		行動医学研究; 29(2); 77-85	滝澤宏和、田山淳、中谷直樹、濱口豊太
134	滝澤宏和	作業療法学科	助教	Effectiveness of Attentional Bias Modification Combined With Cognitive Behavioral Therapy in Reducing Relapse Risk and Cravings in Male Patients With Alcohol Use	共著	あり	○	Neuropsychopharmacol Rep; 45(1)	Yoshifumi Amano, Kohei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Shota Tasaka, Toyohiro Hamaguchi.
135	大塚 斉	社会福祉子ども学科	教授	児童福祉施設職員の育ちの語り	共著	なし		子どもの虹情報研修センター2023年（令和5年）度研究報告書 8-9、16-19、23-28	増沢高・内海新祐・大塚斉
136	石崎 浩	社会福祉子ども学科	教授	年金改革の選択肢と展望――基礎年金の給付水準低下抑制策を中心に	単著	なし		生活経済政策 335号pp.14-18	石崎 浩
137	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 DX時代の重層的支援体制整備事業に PDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(4) 児童相談所及び児童心理治療施設・保育所における好事例報告～実践と研究の横展開～	共著	なし		自治実務セミナー、742、2024年4月号、40-46（執筆45-46）	鳶末憲子・小嶋章吾
138	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	執筆 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第1回～データインフラとしての協創・イノベーションの可能性～	共著	なし		月刊新医療、51(4)、2024年4月号、94-98	鳶末憲子・小嶋章吾
139	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第5回 執筆 介護現場の多職種実践に資するF-SOAIPによる記録システムの標準化を～複数ベンダーやAIサービスによる協創型イノベーション～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(5)、2024年5月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
140	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第3回～導入医療施設・介護保険施設からの具体的有用性の紹介～ 執筆 F-SOAIPによる電子カルテデータの構造化でDX・AI化推進を～医療・介護実践の好	共著	なし		月刊新医療、51(6)、2024年5月号、94-97（執筆分：97）	鳶末憲子・小嶋章吾
141	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第6回 執筆 F-SOAIPにより諸政策課題の解決を～政治家・行政のイニシアチブを期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(6)、2024年6月号、33-36（執筆分：36）	鳶末憲子・小嶋章吾
142	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 多分野多領域にわたる新たな経過記録の有用性、医療DX推進に向けたF-SOAIP実装の推奨 第2回～導入医療施設からの具体的有用性の紹介～ 執筆 DX・AI化を促すF-SOAIPによる電子カルテデータの構造化でイノベーションを～看	共著	なし		月刊新医療、51(5)、2024年6月号、94-97（執筆分：97）	鳶末憲子・小嶋章吾
143	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 DX時代の重層的支援体制整備事業に PDCAサイクルを促進するF-SOAIP～EBPMをめざして(5) F-SOAIP搭載の記録システム活用等による保健師の好事例報告 執筆 行政DXのためにF-SOAIPをデータインフラに～	共著	なし		自治実務セミナー、744、2024年6月号、26-31(執筆分：30-31)	鳶末憲子・小嶋章吾
144	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第7回 執筆 ホームヘルパーによるF-SOAIPの継続がイノベーションに～訪問介護実践の可視化でケアの諸課題解決を目指して～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(7)、2024年7月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
145	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第8回 執筆 ケアマネジメントのミクロレベルでのF-SOAIPデータをメゾ・マクロレベルで活用を～実践・研究の発信成果をEBPMの一助に～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(8)、2024年8月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
146	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第9回 執筆 介護支援専門員による主体的なF-SOAIP研修や研究活動による政策提言	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(9)、2024年9月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
147	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第10回 執筆 F-SOAIPによる経過記録標準化に向けたマクロレベルのアクション～東京都介護支援専門員研究協議会(CMAT)からの発信と大田区議会の動向～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(10)、2024年10月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
148	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	執筆 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第1回 PDCAサイクルを促進するF-SOAIPで課題解決の好循環～F-SOAIPをデータインフラとして標準化し協創を～	共著	なし		Visionと戦略、21(10)、2024年10月号、36-37頁、	鳶末憲子・小嶋章吾
149	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第11回 執筆 多機関の介護支援専門員がF-SOAIPをBCPに位置づけることは急務	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(11)、2024年11月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
150	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	執筆 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第2回 F-SOAIPをデータインフラとしてEBPMを推進～生成AI活用による協創型イノベーションリサーチへの期待～	共著	なし		Visionと戦略、21(11)、2024年11月号、36-37	鳶末憲子・小嶋章吾
151	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 支援の質が劇的に変わる！ 注目の記録法 F-SOAIP実践のポイント	共著	なし		ケアマネジャー、2024年11月号	鳶末憲子・小嶋章吾
152	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPでケアの実践変容を第12回 執筆 F-SOAIP導入自治体のDX～介護支援専門員の諸課題解決～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、35(12)、2024年12月号、36-40（執筆分：40）	鳶末憲子・小嶋章吾
153	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第3回 執筆 F-SOAIPによる外国人介護士への多面的効果と「厚生労働省国際保健ビジョン」への貢献	共著	なし		Visionと戦略、21(12)、2024年12月号、38-39（執筆分：39）	鳶末憲子・小嶋章吾
154	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第1回 執筆 地域包括支援体制のモデル自治体によるF-SOAIP導入成果の発信～協創型イノベーションで重層的支援体制整備事業への横展開に期待～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(1)、2025年1月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
155	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第4回 執筆 F-SOAIPによる外国人介護士への多面的効果と「厚生労働省国際保健ビジョン」への貢献	共著	なし		Visionと戦略、22(1)、2025年1月号、38-39（執筆分：39）	鳶末憲子・小嶋章吾
156	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第2回 執筆 重層的支援体制整備事業の先駆的自治体 豊田市及び社会福祉協議会地域包括支援センターによるF-SOAIP展開のモデル性 ～相談記録プラットフォームへの実装提案～	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(2)、2025年2月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
157	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第5回 執筆 F-SOAIPで障害福祉領域 の横断的な諸課題解決を	共著	なし		Visionと戦略、22(2)、2025年2月号、34-35（執筆分：35）	鳶末憲子・小嶋章吾
158	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 新提案！ 看護記録方法式の新しい方法 F-SOAIP SOAPとフォーカスチャーティングの統合 執筆 F-SOAIP総論－どんな記録方法で、何が新しいのか	共著	なし		エキスパートナース、41(2)、2025年2月号、116-129(執筆分：117-121)	鳶末憲子・小嶋章吾
159	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第3回 執筆 F-SOAIP活用・定着は誰もが気付いた時から始まる	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(3)、2025年3月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
160	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 F-SOAIPによる協創で課題解決を第4回 執筆 F-SOAIP最新トピックス	共著	なし		月刊ケアマネジメント、36(4)、2025年4月号、33-37（執筆分：37）	鳶末憲子・小嶋章吾
161	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	監修 保健医療福祉のDXを推進するF-SOAIP(エフソ・アイビー)の理論と実践 第6回 執筆 F-SOAIP導入先進例の協創でイノベーション～電子カルテ搭載を国に要請～	共著	なし		Visionと戦略、22(3)、2025年3月号、34-35（執筆分：35）	鳶末憲子・小嶋章吾
162	鳶末 憲子	社会福祉子ども学科	教授	執筆 DX時代の全世代型教育実践を可視化～PDCAさにF-SOAIPでイノベーション～	共著	なし		月刊先端教育、65、2025年3月号、88-89	鳶末憲子・小嶋章吾

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
163	保科寧子	社会福祉子ども学科	准教授	外国人支援と司法書士	単著	なし		市民と法, 150, 53-57	保科寧子
164	相良翔	社会福祉子ども学科	准教授	『同じ経験』と『違う経験』の狭間に臨むピア・サポートー更生保護施設および併存性障害者支援施設をフィールドとして	単著	なし		現代社会学理論研究、18、31-43	相良翔
165	相良翔	社会福祉子ども学科	准教授	A path to tertiary desistance: A qualitative metasynthesis	共著	あり	○	Punishment & Society 、online	Masahiro Suzuki, Sho Sagara, Nozomi Yamawaki, Noriko Hashiba
166	川田虎男	社会福祉子ども学科	准教授	大学ボランティアセンター職員の専門性の特質と発揮条件に関わる基礎的研究：大学ボランティアに関する全国実態調査の分析から	共著	なし		聖学院大学論叢、37巻、p. 87-105	川田虎男、若原幸範、瀧澤利行、榎本朝美、熊谷紀良、山崎美貴子
167	川田虎男	社会福祉子ども学科	准教授	福祉教育・ボランティア学習における語り継ぎの可能性	単著	なし		日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要、43巻、p.26-37	川田虎男
168	田中愛誠	社会福祉子ども学科	助教	行政資料から見る明治期の福生の公教育－教育行政資料の細目録化作業を通して－	共著	あり		福生市郷土資料室研究紀要;(3);P16-26	田中愛誠、佐藤志保
169	田中愛誠	社会福祉子ども学科	助教	保育者養成校における科目「情報機器の操作」に関する研究－短期大学通信教育課程のシラバス分析を中心に－	共著	あり		小田原短期大学研究紀要;(55);P93-102	山鹿貴史、松原詩緒、山崎輝美、岩羽紗由実、大田美郁、森志津、田代琴美、張愛子、田中愛誠、寺尾謙
170	林 恵津子	社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻	教授	里親委託児における発達障害の可能性と被虐待経験の調査	共著	あり		特殊教育学研究;62(4);p.213-223	林恵津子、鈴木保巳、寺田信一
171	林 恵津子	社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻	教授	逆境的小児期体験が神経系発達に与える影響-児童虐待と発達障害および睡眠障害に着目して-	単著	なし		子ども・教職研究;8;p.10-17	林恵津子
172	森田満理子	社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻	准教授	現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明（1）－育児感情,精神的健康,相談行動,相談資源に注目して－	共著	なし		日本教育心理学会第66回総会発表論文集、323ページ	藤枝静暁, 増南太志, 堀科, 森田満理子
173	森田満理子	社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻	准教授	現代のコロナ環境下における乳幼児の母親を対象とした虐待リスク予測因子の解明（2）－子育てに関する相談内容と利用しやすい相談方法－	共著	なし		日本教育心理学会第66回総会発表論文集、324ページ	増南太志, 藤枝静暁, 森田満理子, 堀科
174	牧野 由理	社会福祉子ども学科	准教授	戦前の図画・手工に関する教育掛図研究－文部省および東京集画堂発行掛図を対象として－	単著	あり		美術教育学（美術科教育学会誌）；46；P181-192.	牧野由理
175	牧野 由理	社会福祉子ども学科	准教授	博物画家・伊藤熊太郎の海外渡航について－外交史料館資料および米国入国資料を中心として－	単著	なし		子ども教職研究；8；P.18-24.	牧野由理
176	五味 葉子	社会福祉子ども学科	助教	0～3歳児の生活習慣の実態と健康管理上の課題	共著	あり		子どもの健康福祉研究36；pp.212-222	○文 双鵬・五味葉子・前橋 明
177	延原弘章	健康行動科学専攻	教授	Relationship between pain catastrophizing and pain self-efficacy and presenteeism in workers: a cross-sectional-study focusing on gender differences	共著	あり	○	Industrial Health; 63; 26-39	Toshiki KISHIMOTO, Yoshinori KITABATAKE, Takayuki TAGUCHI, Hiroaki NOBUHARA
178	若林チヒロ	健康開発学科	教授	Investigating the Moderating Effect of HIV Status Disclosure on the Link Between Discrimination Experience and Psychological Distress among People Living with HIV in Japan Infected through Sexual Contact	共著	あり	2.7 (2022)	the International Journal of Behavioral Medicine.	Takeshi Miwa1,2, Chihiro Wakabayashi1, Kanna Hayashi3, Kazuko Ikeda4, Junko Tanuma4, Yoshiyuki Yokomaku5 and Yuzuru Ikushima2
179	北畠義典	健康開発学科	教授	Relationship between pain catastrophizing and pain self-efficacy and presenteeism in workers: a cross-sectional-study focusing on gender differences	共著	あり	○	Ind Health., 63(1):29-39.	T Kishimoto, Y Kitabatake, T Taguchi, H Nobuhara
180	大木 いずみ	健康開発学科健康行動学専攻	教授	該当なし（アクセプト中 Title: Comparative Net Survival Analysis of Men and Women with Breast Cancer in Japan: a Population-based Study.) Author(s): Sibale Mojoo, Daisy; et al. Cancer science 他3本					

2024年度公表論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
181	大木　いずみ	健康開発学科健康行動学専攻	教授	該当なし（投稿中　Title: Trends in net survival for cancers of the colon and rectum in Japan, 2000–2014 (CONCORD-3). Oki I, et.al. JJCO）					
182	本間三恵子	健康行動科学専攻	准教授	「孤独/Lonelinessの医療化」論で何が問われているか？—PubMed収載文献の動向から—	単著	あり		保健医療社会学論集 35(2) 96-105	本間　三恵子
183	白岩　祐子	健康行動科学専攻	准教授	刑務所職員のバーンアウト:他職種の先行研究との比較から	共著	あり		ストレス科学研究, 38, 1-8.	白岩 祐子, 今城 志保, 安部 尚子, 篠山 義郎, 唐沢 かおり, 須藤 隆行
184	白岩　祐子	健康行動科学専攻	准教授	Posthumous fame of Vincent Van Gogh: Role of death positivity bias and death effect.	共著	あり		Journal of Human Environmental Studies, 22, 181-185.	Yuko Shiraiwa & Masami Takahashi
185	村井美代	健康開発学科	教授	マルチプレックスPCRによるLegionella pneumophila血清型別法について	共著	なし		IASR Vol. 45, No.7, p123-124	前川純子、佐伯歩、森田昌知、明田幸宏、中植竜大、村井美代、森中えりか
186	有竹清夏	健康開発学科	教授	Subjective sleep onset latency is influenced by sleep structure and body heat loss in human subjects.	共著	あり	○	J Sleep Res. 2024 Oct;33(5):e14122. doi: 10.1111/jsr.14122.	Iijima R, Kadooka A, Sugawara K, Fushimi M, Hosoe M, Aritake-Okada S
187	有竹清夏	健康開発学科	教授	Human deep sleep facilitates faster cerebrospinal fluid dynamics linked to brain oscillations for sleep homeostasis and memory	共著			bioRxiv	Uji M, Li X, Saotome A, Katsumata R, Waggoner A, Suzuki C, Ueno K, Aritake S, Tamaki M
188	岡田茂治	健康開発学科	准教授	一般検査分科会報告 ～「臨地実習前技能到達度評価」について～	単著	あり		日本臨床検査教育学会17巻1号(2025年3月)	岡田茂治
189	矢野　哲也	健康開発学科	准教授	胸水細胞診における低真空走査電子顕微鏡観察による小細胞癌とリンパ腫の形態学的特徴	共	有		医学検査,74(1),66-72	矢野哲也,内山雅之,望月玲音,中嶋裕,副島友莉恵
190	植野　正之	健康開発学科	教授	Weight Loss and Number of Present Teeth in Community - Dwelling Japanese Older Adults: A Cross - Sectional Study in Niigata	共著	あり	○	Journal of Oral Rehabilitation, 52 ; 2 : 169-180.	Sachiko Takehara, Masayuki Ueno, Akihiro Yoshihara, Masanori Iwasaki, Kana Suwama, Kumiko Minagawa, Ichiei Narita, Junta Tanaka,
191	植野　正之	健康開発学科	教授	Analysis of factors related to early adolescent health	共著	あり		Journal of Osaka Dental University, 58; 1 : 241-252	Mari NAKAYAMA, Masanori HASHIMOTO, Tetsuji KUSUMOTO, Masayuki UENO
192	佐藤玲子	健康開発学科	准教授	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻	関美雪 上原美子 佐藤玲子 石崎順子 柴田亜希 伊草綾香 丹野祐美 黒澤恭子 菊池宏
193	新井　恵	健康開発学科	准教授	透析患者に対して歯科衛生士が行う口腔健康教育の有用性	共著	あり		新潟歯学会雑誌 54(1);P 21-27	新井恵、葭原明弘
194	新井　恵	健康開発学科	准教授	第1回 統計学の基本的な考え方から統計学的検定方法の選択まで	共著	なし		日本歯科衛生学会雑誌；18（2）；P.14-25	野村義明、松田悠平、新井恵、伊藤奏、藤原奈津美、西村留美、白部麻樹、野口有紀、森下志穂、畠中能子
195	江良　裕子	口腔保健科学専攻	助教	Controlled drug-releasable novel dental restorative composite materials using nano-structured silica particles	共著	あり		Proceedings of Chitose International Forum 24, (accepted)	Y.Era, S.Safae, M.Nesabi, S.Iwata,M.Endo, M.Kinjo, T.Ge, Q.Yin, A.Hyono, S.Abe, M.Nakamura
196	芝原　花奈子	健康開発学科	助教	Review of cancer cell volatile organic compounds: their metabolism and evolution	共著	あり	○	Front. Mol. Biosci, 11, 1-11	Takashi Furuhashi, Kanako Toda, Wolfram Weckwerth
197	林　桜	健康開発学科	助教	青色光による抗菌的光線力学療法の歯周治療への応用	共著	あり		日本レーザー歯学会誌；34；P.15-21	竹内 康雄、林 桜、豊嶋 啓汰、平塚 浩一、岩田 隆紀、青木 章
198	上原 美子	共通教育科	教 授	養護教諭の養護観に関する文献研究 第2報　ー現代の養護教諭の対応事例の分析を通してー	共著	あり		学校健康相談研究21巻47－57	黒子彩子、亀崎路子、高畠洋子、小林芳枝、上原美子、竹俣由美子、山中寿江

2024年度公表論文一覧

	教員氏名	部署(学科)	職名	名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始 - 終了ページ	著者、編者、発表者
199	上原 美子	共通教育科	教 授	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討　　－学校等事故事例検索データベースを用いた分析－	共著	あり		子ども・教職研究第8巻	関美雪、上原美子、佐藤玲子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、丹野祐美、黒澤恭子、菊池宏
200	飯島博之	共通教育科	教授	形態論的気づきに基づく医学用語指導と看護学生の語彙学習に関する認識	単著	あり		英語授業研究学会紀要, 第33号; P57-69	飯島博之
201	滑川 道人	共通教育科（兼）保健センター	教授・センター長	B型肝炎ワクチン個別接種による感染管理 ---コロナ禍3年間の振り返り---	共著	なし		CAMPUS HEALTH 61(1), 91-2, 2024	井上由紀、滑川道人
202	竹島太郎	共通教育科	教授	The Association between Sarcopenia and Constipation Onset in Community-dwelling Older Adults in Japan	共著	あり	○	Intern Med.	Nakagawa H, Takeshima T, Ozaka A, Sasaki S, Hamaguchi S, Fukuhara S.
203	浅川泰宏	共通教育科	准教授	近代四国霊場の組織化－四国霊場讃岐寺院会の10年史－	単著	あり		四国遍路と世界の巡礼, 第10号, 54-65	浅川泰宏
204	浅川泰宏	共通教育科	准教授	コロナ禍の聖年－2020年～2023年の調査から－	単著	あり		史苑, 第85巻第2号, 34-54	浅川泰宏
205	高柳 雅朗	共通教育科	准教授	小児看護学領域における 3 D教材（ペーパークラフト）を活用した授業方法による学習効果	共著	あり		日本看護学教育学会誌, 34(2-1), 23-34	篠原理恵、廣瀬京子、武田智晴、高柳雅朗、野崎真奈美
206	高柳 雅朗	共通教育科	准教授	Evaluating Changes in Disaster Preparedness Awareness among Nursing Students in Japan: Insights after Three Years of Nursing Education	共著	あり		Open Journal of Nursing, 15(1), 53-59	Yuriko Inoue, Mikako Tanaka, Hiromitsu Ezure, Junji Ito, Akiko Sasaki, Takashi Takaki, Harumi Hata, Masaaki Takayanagi, Naruhito Otsuka
207	高柳 雅朗	共通教育科	准教授	Age-Related Differences in Information Gathering among Nursing Students: Implications for Nursing Education	共著	あり		Open Journal of Nursing, 15(1), 60-66	Yuriko Inoue, Mikako Tanaka, Hiromitsu Ezure, Junji Ito, Akiko Sasaki, Takashi Takaki, Harumi Hata, Masaaki Takayanagi, Naruhito Otsuka
208	高柳 雅朗	共通教育科	准教授	Factors Reducing Pressure Ulcer Risk and the Importance of Care in ALS Patients: A Comprehensive Review	共著	あり		British Journal of Healthcare and Medical Research, 12(1), 1-6	Yuriko Inoue, Mikako Tanaka, Hiromitsu Ezure, Junji Ito, Akiko Sasaki, Takashi Takaki, Harumi Hata, Masaaki Takayanagi, Naruhito Otsuka